

大里小だより

6月号

令和3年6月18日

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルスが、変異株であるイギリス株にすべて置き換わったと思ったら、今度はインド株が流行し始めました。感染しやすさは初めのころの約2倍だそうです。学校でもクラスターが発生してしまう危険が増えています。暑くなりマスク着用には不快感が伴いますが、熱中症対策をしながらみなさん頑張りましょう。

大里地区子ども見守り隊のみなさん

全校児童と「対面式」、その後「総会」を行いました

5/26



※本年度の見守り隊の会長は八木さん（あかつ台）、副会長は小野さん（西睦合）になりました。

全員で28名の方に見守り隊として登録していただいています。そのうち15名の方がご来校くださいました。対面式では、見守り隊のみなさん、お一人ずつに自己紹介をしていただき、児童は日頃の感謝の気持ちを込めて拍手を返しました。そして、児童代表が挨拶しました。

どしゃ降りの日も、熱中症になりそうな暑い日も、風が強く凍えそうな日も、雷が鳴っている怖い日も、児童は見守り隊の方がいらっしゃるから安心して登下校できます。こけてひざをすりむいてしまった子は絆創膏を貼ってもらったり、鼻血が出た子は学校まで送ってもらったりしました。本当にありがたいことです。

見守り隊のみなさんも、どうかお体を大切にしてください。

交通安全教室「自転車に乗るとき」

5/26

低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）に分かれて、自転車の乗り方や交通ルール、自転車点検の仕方について、津市交通教育プロバイダ（4名）の方から学びました。

自転車に乗るときは【三つの左】、点検するときは【ブタハシャベル】が大事でした。



民生委員・児童委員さんと教職員の懇談

6/14



昨年度は感染症対策のためできませんでした。令和元年12月に就任していただいた民生委員・児童委員さん（8名）、主任児童委員さん（1名）と教職員が顔を合わせ、情報交換を行いました。（民生委員・児童委員さんは守秘義務を負っていますので、ご安心ください。）私たちは「子どものために」、共にできることをやっていきます。

民生委員・児童委員さんは、それぞれが担当する区域において、みなさんからの様々な相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割、高齢者世帯等を見守る役割を果たしています。お気軽にご相談ください、もちろん学校にも。

安全教育 6/14～18

大切な命を守るために、今週を安全教育週間として、全学級で取り組みました。

慣れた行動でも、その時ちょっと普段と違う要素が紛れ込んだだけで、危険度が格段に上がります。しかし、私たちはそのことに案外鈍感なものです。日常生活の中に潜んでいる危険を、再確認する機会としました。ご家庭でも機会をとらえてお話しください。